

スーパーヒーロー戦記
&スーパー口ボット大
戦 125

KKK・キング

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

仮面ライダー 50周年記念!!

スーパー戦隊 45周年記念!!

スーパー戦隊 30周年記念!!

今、ここに新たなヒーロー伝説が始まる!!

スーパーヒーロー戦記&スーパー戦隊大戦

125!!

目次

設定

参加作品

1

オリジナルキャラクター・メカニック

15

予告PV

27

ストーリー（共通）

Episode 00『プロローグ』戦

34

白の章+青の章

Episode 01『白の章』『地球は

50

生命の宝箱』

設定

参加作品

★スープーロボット大戦側（★は新規参戦作品）★

機動戦士Ζガンダム

機動戦士ΖΖ

機動戦士ガンダムΖΖ
逆襲のシャア

機動戦士クロスボーン・ガンダム

機動戦士クロスボーン・ガンダム
スカルハート

機動戦士クロスボーン・ガンダム
鋼鉄の7人

機動戦士クロスボーン・ガンダム
ゴースト

機動戦士クロスボーン・ガンダム
Dust

機動戦士Vガンダム

機動武闘伝Gガンダム

新機動戦記ガンダムW

新機動戦記ガンダムW
Endless Waltz

機動新世紀ガンダムX

∀ガンダム

機動戦士ガンダムSEED

DESTINY

機動戦士ガンダムOO

wakening

機動戦士ガンダムOO A

of the

T r a i l b l a

Z e r

機動戦士ガンダムAGE

機動戦士ガンダムUC

新機動戦記ガンダムNT

ガンダム Gのレコンギスタ

機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ

ガンダム 閃光のハサウェイ

★SDガンダムフォース

SDガンダム三国伝 Brav e Batt le W arr ior s

★SDガンダムワールド 三国創傑伝

★SDガンダムワールド ヒーローズ

ガンダムビルドファイターズ

マジンカイザースキル

真マジンガー衝撃！Ζ編（一部の機体のみ）

真マジンガーボローバルテスV 暗黒大将軍（一部の機体のみ）

マジンガーピニフィニティ

マジンカイザービニフィニティ

★ゲッターロボ號（アニメ）

真（チエンジ!!）ゲッターロボ 世界最後の日

UFOロボグレンダイザー

鋼鉄ジーヴ

鋼鉄神ジーヴ

超電磁ロボコンバトラーブ

超電磁マシンボルテスV

闘将ダイモス

未来ロボダルタニアス

銀河旋風ブライガー

獸神ライガー

超獣機神ダンクーラ

獣装機攻ダンクーラノヴァ

新世紀エヴァンゲリオン

フルメタル・パニック！

無敵超人ザンボット3

無敵鋼人ダイターン3

無敵ロボトライダーハイG7

聖戦士ダンバイン

聖戦士ダンバイン New

N B I N E

リーンの翼

G E A R 戦士電童

N G 騎士ラムネ&40

勇者エクスカイザー

★太陽の勇者ファイバード

★伝説の勇者ダガーン

勇者特急マイトガイ

S t o r y
o f
A u r a
B a t t l e r
D U

勇者警察ジエイデツカ一

★黄金勇者ゴルドラン

★勇者指令ダグオン

勇者王ガオガイガー

勇者王ガオガイガ一FINAL

★勇者聖戦バーンガーン

★量子跳躍レイゼルバー

★新世代ロボット戦記ブレイブサーバガ

絶対無敵ライジンオー

元気爆発ガンバルガ一

熱血最強ゴウザウラー

完全勝利ダイティオ一

霸王大系リューナイト

魔神英雄伝ワタル

★魔神英雄伝ワタル 七魂の龍神丸

疾風!!アイアンリーガー

魔動王グランゾート

魔法騎士レイアース

装甲騎兵ボトムズ

ザ・ラストレツドショルダー（一部の機体のみ）

装甲騎兵ボトムズ

ビッグバトル（一部の機体のみ）

コードギアス 反逆のルルーシュ R2

コードギアス

復活のルルーシュ

クロスアンジュ 天使と竜の輪舞

★クロスアンジュ 天使と竜の輪舞 tr.（ゲーム）

バディ・コンプレックス

バディ・コンフレックス 完結編 —あの空に還る未来で—

樂園追放 —Expelled from Paradise—

ガン×ソード

トップをねらえ！

機動戦艦ナデシコ —The prince of darkness—

天元突破グレンラガン

劇場版 天元突破グレンラガン

螺巖篇

マクロス7

マクロスダイナマイト7

劇場版 マクロスF 虚空歌姫「イツワリノウタヒメ」

劇場版 マクロスF 恋離飛翼「サヨナラノツバサ」マクロスF

マクロス△

★レガリア The Three Sacred Stars
ゾイド - ZOIDS

ゾイドジエネシス

★ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー

★ビーストウォーズII 超生命体トランスフォーマー

★超生命体トランスフォーマー ビーストウォーズネオ

★ビーストウォーズメタルス 超生命体トランスフォーマー
アイドルマスターXENOGLOSSIA

ケロロ軍曹

新サクラ大戦

銀河機攻隊マジエスティックプリンス

ナイツ&マジック

マブラブ・オルタネイティブ

★神無月の巫女

SSSS·GRIDMAN

★戦姫絶唱シンフォギアXD

★IS インフィニット・ストラトス
わが青春のアルカディア 無限軌道SSX

宇宙戦艦ヤマト2199

スーパーロボット大戦OGシリーズ

バンプレストオリジナル

☆スーパーワンダーフリーダム☆

秘密戦隊ゴレンジャー

ジャッカーレ電撃隊

バトルフィーバーJ

電子戦隊デンジマン

太陽戦隊サンバルカン

大戦隊ゴーグルファイブ

科学戦隊ダイナマン
超電子バイオマン
電撃戦隊チエンジマン
超新星フラツシユマン
光戦隊マスクマン
超獣戦隊ライブマン
高速戦隊ターボレンジヤー
地球戦隊ファイブマン
鳥人戦隊ジエットマン
恐竜戦隊ジュウレンジヤー
五星戦隊ダイレンジヤー
忍者戦隊カクレンジヤー
超力戦隊オーレンジヤー
激走戦隊カーレンジヤー
電磁戦隊メガレンジヤー
星獣戦隊ギンガマン
救急戦隊ゴーゴーファイブ

未来戦隊タイムレンジャー
百獣戦隊ガオレンジャー
忍風戦隊ハリケンジャー
爆竜戦隊アバレンジャー
特搜戦隊デカレンジャー
魔法戦隊マジレンジャー
轟轟戦隊ボウケンジャー
獣拳戦隊ゲキレンジャー
炎神戦隊ゴーオンジャー
侍戦隊シンケンジャー
天装戦隊ゴセイジャー
海賊戦隊ゴーカイジャー
特命戦隊ゴーバスターズ
獣電戦隊キョウウリュウジャー
烈車戦隊トッキュウジャー
手裏剣戦隊ニンニンジャー
動物戦隊ジュウオウジャー

宇宙戦隊キュウレンジャー

快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー

騎士竜戦隊リュウソウジャー

魔進戦隊キラメイジャー

機界戦隊ゼンカイジャー

☆仮面ライダーシリーズ☆

仮面ライダー

仮面ライダーV3

仮面ライダーブースター

仮面ライダーアマゾン

仮面ライダーストロンガー

新仮面ライダー（スカイライダー）

仮面ライダースーパー1

仮面ライダーゾウ

仮面ライダーBLACK RX

仮面ライダーBLACK RX

仮面ライダークウガ

仮面ライダー・アギト

仮面ライダー・龍騎

仮面ライダー555（ファイズ）

仮面ライダー剣（ブレイド）

仮面ライダー響鬼（ヒビキ）

仮面ライダー・カブト

仮面ライダー電王

仮面ライダーキバ

仮面ライダーディケイド

仮面ライダーウ（ダブル）

仮面ライダーOOO（オーズ）

仮面ライダーフォーゼ

仮面ライダーウイザード

仮面ライダー鎧武（ガイム）

仮面ライダードライブ

仮面ライダー・ゴースト

仮面ライダーエグゼイド

仮面ライダービルド

仮面ライダージオウ

仮面ライダーゼロワン

仮面ライダーセイバー

☆プリキュアシリーズ☆

ふたりはプリキュア

ふたりはプリキュア Max Heart
ふたりはプリキュア Splash☆Star

Yes! プリキュア5 Go Go!

フレッショウプリキュア!

ハートキヤツチプリキュア!

スイートプリキュア♪

スマイルプリキュア!

ドキドキ! プリキュア

ハピネスチャージプリキュア!

Go! プリンセスプリキュア

魔法つかいプリキュア！

キラキラ☆プリキュアアラモード

Hug（はぐ）つと！プリキュア

スター☆トゥインクルプリキュア

ヒーリングつど♥プリキュア

トロピカル♪ジユ！プリキュア

☆そのほかの作品☆

ドראえもん

ザドראえもんズ

クレヨンしんちゃん

デジモンシリーズ

大乱闘スマッシュブラザーズ

S P E C I A L

☆オリジナル作品——☆

プリキュア&ブレサガシリーズ

スーパーヒーロー大戦H R

スーパークロスサーモンシリーズ

プリキュア・ミラクル・クロス

R E

オリジナルキャラクター・メカニツク

白の章

勇剣光輔 イメージCV 保志総一朗

白の章の主人公。熱血漢のある性格をしている。冒険家の父を持つており、自分も父のような存在になろうと思っている。かつて父のくれた剣の形をしたペンダントの力で伝説の機神・パラディオンのパイロットに選ばれる

勇剣愛菜 イメージCV 水瀬いのり

光輔の妹で希望の双子の姉。勉強が得意で読書が趣味の知的なイメージを持つている。光輔がパラディオンのパイロットになつたことで希望と交代でサブパイロットになる。

勇剣希望 イメージCV 小倉 唯

光輔の妹で希望の双子の妹。元気がいっぱいでスポーツが大得意である。光輔がパラディオンのパイロットになつたことで愛菜と交代でサブパイロットになる。

勇剣亜由美 イメージCV 水樹奈々

光輔と愛菜と希望の母。三人の子持ちとは思えないくらい若く見えるが本当の年齢

はNGとされているので聞かないようにしている。かつてはクロスブレイバーズの責任者として活躍していた。新たな闇が現れたことを知り、再び戦地に戻ることを決意する。他の章で登場。

勇剣勝利　　イメージCV　子安武人

光輔と愛菜と希望の父親にして、亞由美の夫。クロスブレイバーズの責任者であるが事件によって行方不明となる

大島章太郎　　イメージCV　チヨー

かつて刑事を勤めていたが今は定年しており隠居の生活をしている。クロスブレイバーズでは亞由美と勝利の先輩を務めている。釣りをしたり、酒を飲んだりするのが大好きである。他の章で登場。

黒沢絵里奈　　イメージCV　喜多村英梨

クロスブレイバーズのオペレーターを担当する女性。クールな性格をしている。亞由美にあこがれている。他の章で登場。

白石美央　　イメージCV　折笠富美子

クロスブレイバーズのオペレーターを担当する女性。大人締めで控えめな性格をしている。亞由美にあこがれている。他の章で登場。

パラディオン イメージCV 杉田智和

かつて大いなる闇を封印するために神々によつて作られた光の機神。光輔の持つていた剣のペンダントによつて完全に復活する。また愛菜と希望がサブパイロットになると様々な力を発揮する。

武装

パラディオンセイバー 光輔が光の力を使いこなしたことで召喚される光の聖剣

技

シャイニングフォース 両腕から放たれる光線

パラディンフラッシュャー 額から放たれる光線

必殺技

パラディンセイントノヴァ 胸のエンブレムから放たれる必殺光線

パラディンセイントファニッシュュ パラディオンセイバーに光の力を宿らせて敵を

一刀両断にする必殺技

戦艦アーヴィング

クロスブレイバーズ専用の戦艦。何体ものロボットを収納することができ、様々な兵器を所有している。

青の章

神原美雪 イメージC.V 日高里菜

青の章の主人公。セイントアーク学園・中等部に通う少女。病弱で体つきも弱いが誰に対しても優しい性格である。ある日出会い、友達となる。後にアンジエの最高のパートナーとなつた

アンジエ イメージC.V 戸松遥

最新のA.Iを搭載した女性型アンドロイド。新作段階途中で美雪と出会い、友達となる。開発者たちの手によって記憶を失うが美雪の言葉によつて友情を取り戻す。戦闘時はビームブレードとレーザーガンを武器とする。またサポートメカ・ウイングアタッカーと合体することでアンジエリオンとなる

神原水果 イメージC.V 三森すずこ

美雪の姉。クロスブレイバーズのメカニックを担当している。アンジエの制作者である。

アンジエリオン イメージC.V 戸松遥

アンジエがサポートメカ・ウイングアタッカーと合体した姿である。空中戦とスピーダ戦を得意としている。当初は合体できなかつたがお互いを信じあうことでの合体が可能となつた

武装

アンジエリカリバー アンジエリオン専用の武器である銃にもなれる剣

技

エンジェルフェザー

背中の翼から放たれる光線

エンジェルビーム

額のクリスタルから放たれる光線

必殺技

セイグリットフォース

光に包まれて、敵をアンジエリカリバーを切り裂く技

赤の章

龍宮真人 イメージCV

置鮎龍太郎

赤の章の主人公。高校生でありながら龍宮グループの総帥候補とされている。父親とは対立している。ある遺跡でかつて大いなる災いを倒したとされている龍帝バハムートと契約し、大いなる闇と戦うことを決意する

龍宮剛一郎 イメージCV

梁田清之

真人の父で龍宮グループの総帥。真人とは対立している

龍帝バハムート イメージCV

三宅健太

かつて大いなる災いを倒したとされている伝説の龍神。戦いや強さを好んでいる。

また敗北や逃走は自身対しての侮辱とされている。真人の強き心に気に入り、彼とともにに戦うことを決意する。

武装

ドラゴニックブレード 必殺技・使用時に現われる必殺剣

技

龍皇の火炎 口から放たれる火炎

龍皇の雷 頭部の角から放たれる雷撃

必殺技

龍帝・烈火斬 ドラゴニックブレードに炎の力をためて、敵を切り裂く必殺技

龍帝・八龍陣 ドラゴニックブレードを地面に突き刺し、そこから八体の火炎龍を放つ必殺技

緑の章

マックス宝道 イメージCV 鈴村健一

緑の章の主人公。冒険家であり、彼の父もそうであった。父が見つけ出したという伝説の宝を探している。その時に持っていたペンダントの力によつてマジックアースにやつてしまい、そこでウイザーオンのパイロットになる

フェリス イメージCV 上坂すみれ

マックスがマジックアースで出会つた黒猫。実はある冒険家であつたが呪いの力で猫の姿になつてしまつた（彼女曰く猫ではなく豹と自称している）。

ウイザードン イメージCV 神谷浩史

マジックアースに伝わる伝説の魔神。マックスの持つているペンダントの力で契約する。様々な魔法の力を使いこなし、戦闘を有利に進めている。

武装

ウイザードン専用の武器である剣にもなれる魔法杖

技

フレイム・レッド 炎の魔法

ブリザード・ブルー 水と氷の魔法

トルネード・グリーン 風の魔法

サンダー・イエロー 雷の魔法

必殺技

エレメントバースト 炎・氷・風・雷の四つの力を放つて、敵を倒す必殺技

黒の章

大神真白 イメージCV 沢城みゆき

漆黒の鋼獣・ヴァルヴォルガーと共に行動する女性。謎の敵によつてに家族を含む親しい人々を殺されており、復讐のために戦つていたが、様々な人物との出会いでその心

が変わっていく。

大神雪奈 イメージCV 悠木 碧

真白の妹。謎の敵によつて殺されたが・・・

ヴァルヴォルガー イメージCV 井上和彦

真白の世界で伝説となつてゐる漆黒の鋼獣。翼が生えた狼のような姿をしている。
真白と一体化することで人狼型に変形する。

武装

ヴァルクロー 両腕の鉤爪。獣型と人型の共通装備

ヴァルサーベル 腰に装備された双剣。人型のみ使用可能

技

ウルフブラスト 口から放たれる火炎。人型でも使用可能

ウルフカツター 両翼から放たれるレーザーカツター

ウルフビーム 目から放たれる光線

必殺技

クレセントスライサー ヴァルサーベルで何度も切り裂く必殺技

フルムーンバースト 全身を青白い狼のオーラに包まれて、敵を攻撃する必殺技。

真

白の怒りによつて狼の数も増える

無の章

ナナシ イメージCV 川澄綾子

記憶喪失のミステリアスな女性。自分の出自も名前も分からぬため、「ナナシ」と自ら名乗つてゐる。気まぐれで他人をからかうのが大好き。記憶喪失ではあるが、常にボジティブに振る舞う（曰く、前向きに考えたほうが楽しいから）。付いていくべきだとう自らの勘で、部隊に同行する。

他の主人公と違い、イメージカラーは無色

モデルは『xxxholic』の壱原侑子。

ノット イメージCV 丹下桜

ブランクに搭載された人工A.I.。ナナシを自らの主と定め、忠実に従う。名前はナナシが付けた。ナナシにも難しいブランクの情報処理や、データ収集を担当する。どんなジヨークも淡々と受け流してしまのがナナシにとつて唯一の悩み。

ブランク

ナナシの登場する灰色の機体。ナナシ曰くいつの間にか側にあつたらしい。ナナシ同様出自不明なのでナナシが名付けた。認証式で、ナナシのみ操縦できる。前線での戦闘の他、他機体の補給機能も備わつてゐる。

武装

ネームブレイド ブランクの右腰に備わっている高周波ブレード。

ネームキヤノン ブランク左腰に備わっている中・遠距離型ランチャー。

必殺技

ナツシングエンド ネームキヤノンからチャージしたエネルギー弾を発射。そこから小規模なブラックホールを発生させ、周囲の敵を崩壊させる。

敵組織

アポカリップス帝国

デスマーベルス 大友龍三郎

かつて大いなる闇として現われた存在。全ての生きているものを憎んでいる。伝説の光の化身によつて力を封印されたが様々な負の感情によつて完全とは行かないが意志によつて伝えることができるようになる

謎の美少女三姉妹 「ジエノサイドシスターーズ」

常に全身とアーマーと頭に冠を付け全身を隠すマントを纏い仮面を付けている。その正体はパラディオンと同じ光の国の生き残りであり、デスマーベルスの娘としてとしてして育てられた。

ウルド イメージCV 早見 沙織

赤い色のツインテール。ジェノサイドシスターズのリーダーである少女。冷徹で弱者を痛めつけることを好む。武器は蛇腹剣にもなる長剣。デストロイスを「父上」と呼んでいる。

ヴエルダンディ イメージCV 竹達 彩奈

黒髪のロングヘア。ジェノサイドシスターズの一人である少女。勝つ為なら卑怯な手段を選ばない。武器は身の丈より高い頑丈な盾。（剣や杭などの隠し武器が内蔵している。）

デストロイスを「お父様」と呼んでいる。

スクルド イメージCV 東山 奈央

薄い黄色のショートヘア。ジェノサイドシスターズの一人である少女。平気で嘘をつき、敵をだますことを好む。武器はボウガンにもなる弓。デストロイスを「パパ」と呼んでいる。

カオス イメージCV 子安武人

アポカリプス帝国・最強の騎士。パラディオンと同じ黒騎士の魔神・ブラックカイザーに乗つて戦う。その正体は・・・

ブラックカイザー イメージCV 中村悠一

カオスと共に戦う闇の機神。カオスの持つ剣のペンドントの力で動くができる。パラディオンと互角以上のパワーを持つ。また双頭龍形態のカイザーバーンにも変形が可能

武装

カイザージャベリン 必殺技使用時に現われる両刃剣

技

ダークネスフォース 両腕から放たれる光線
バラデインクラッシャー 額から放たれる光線

必殺技

カイザーダークネスノヴァ 胸のエンブレムから放たれる必殺光線
カイザーダークネスデストロイ カイザージャベリンに闇の力をためて敵を切り裂く必殺技

カイザーバーン

ブラックカイザーが変形した双頭龍形態。この時は口から放たれる火炎と尻尾から放たれる光線を武器としている

予告PV

仮面ライダー 50周年記念!!

スーパー戦隊 45周年記念!!

スーパー戦隊ボット大戦 30周年記念!!

今、ここに新たなヒーロー伝説が始まる!!

スーパー戦記&スーパー戦隊ボット大戦 125!!

集結せよ!! 正義の志を持つ者たちよ!!

甲兎

「よしつ、やるぜ! ブレストファイヤー!」

刹那

「トランザム始動!! 僕が断ち切る!! でああ!!」

凱

「これで終わりだ!!! ヘル・アンド・ヘブン!!!! うおおおおおおおおおおおおおおおお!!!!」

光

「行くよ、レイアース!!炎の矢を受けてみろ!!!」
ヴァン

「運がなかつたな・・・俺の間合いだ!!チエースト!!」
響

「押してまいる!!うおおおおおおおおおおおお!!!この胸に宿る想い・・・歌を・・・」

アカレンジャー

「レッドビュート!!」

ティラノレンジャー

「龍撃剣!!ハウリングキヤノン発射!!」

キラメイレッド

「行くぞ!!キラメイショット!!」

ゼンカイザー

「全力全開で行くぜ!!」

1号

「ライダー キック!!」

R X

「リボルケイン!!」

ゼロワン

「お前を止められるのはただ一人、俺だ！」

セイバー

「火炎十字斬!!」

キュアブランク、キュアホワイト

「プリキュア！ マーブルスクリュー！」

マックス！」

キュアドリーム

「皆を傷つけることは絶対に許さない!! プリキュア・シユーティング・スター!!!」

キュアグレース

「私達は絶対にお手当をあきらめない!! プリキュア・ヒーリングフラワー!!」

キュアサマー

「やる気いっぱいトロピカルよ!! ハートルージュロツド!! プリキュアおてんとサマー
ストライク!!」

そして・・・それぞれの輝く5つの光

希望の青!!

神原美雪 イメージCV 日高里奈

アンジェ・アンジェリオン イメージCV 戸松遥

美雪

「アンジエリオン、行くよ!!」

アンジエリオン

「ええ、美雪と一緒になら私達は無敵!!」

霸道の赤!!

龍宮真人 イメージC V

置鮎龍太郎

龍帝バハムート イメージC V

三宅健太

真人

「バハムート、奴らを消せるか?」

バハムート

「我にできぬことはない!! 全てを焼き払う!!」

導きの縁!!

マックス宝道 イメージC V 鈴村健一

フェリス イメージC V 上坂すみれ

ウイザードン イメージC V 神谷浩史

フェリス

「マックス、来るニヤ」

マックス

「おう、俺の冒険魂は無限だ!!」

ウイザーオン

「了解した!! わが魔法を受けるがよい!!」

復讐の黒!!

大神真白 イメージCV 沢城みゆき

ヴァルヴォルガー イメージCV 井上和彦

真白

「許さない・・・お前達だけは絶対許さない!!」

ヴァルヴォルガー

「へっ、面白いじゃねえか。その実力を見せてもらうぜ!!」

そして・・・正義の白!!

勇剣光輔 イメージCV 保志総一朗

勇剣愛菜 イメージCV 水瀬いのり

勇剣希望 イメージCV 小倉 唯

バラディオン イメージCV 杉田智和

光輔

「二人とも行くぞ!!」

愛菜

「はい!!兄さん!!」

希望

「こつちもいいよ、お兄ちゃん!!」

パラディオン

「ああ!!三人の力が一つになつたとき奇跡が生む!!」

そして、謎の存在である無の存在

ナナシ イメージCV 川澄綾子

ノット イメージCV 丹下桜

ブランク

ナナシ

「さあ、行くわよ!!」

ノット

「了解しました。攻撃開始します」

スーパーヒーロー戦記&スーパーロボット大戦

125!!

10月スタート!!

ストーリー（共通）

Episode 00 『プロローグ～戦いの予兆～』

どんな物語にも共通するものが存在する

世界

光と影

正義と悪

始まりと終わり

この物語にもいくつもの敵が現れ、世界を混乱させていた。しかし正義の心を持つ者たちによつてその野望を打ち碎いた

しかし・・平和は打ち碎かれた!!新たな闇が現れた

様々な闇が現れる時、光と正義の心を持つ者達が現れた

Episode 00 『プロローグ～戦いの予兆～』

一つの戦いが終わり・・・新たな戦いが始まる序章

パスダ

「カ、カインの遺産の力といえど、心弱きものどもが・・・これほどまでに・・・」

凱

「終わらせる……あの日から始まつたすべてを……俺たちの手で……!!ゴルディオ
ンハンマー!!!!E I — 0 1 !!光になれえええええええええええええええええ
バスダー!!!!」

「つ、終にして、始まりの地……いずれ……われらは……」
運命を受け入れて、宿命に目覚めるもの

覚醒したヴィルキスはドラゴンに立ち向かい……

アンジュ

「……死にたくない……死にたくない……死にたくないい——つ!!お……お……お前がつ……お
前が、死ねえええええツ!!」

ヴィルキスの斬撃でドラゴンは一刀両断された

それぞれの理由で戦うものたち……

三璃紗

曹操ガンダム

「そうか貴様たちも天を望むか……」

劉備ガンダム

「違う!!天を動かしたのは民の想い!!」

曹操ガンダム

「民の想いだと・・・・・・？」

孫権ガンダム

「そうだ!! 平和を願う皆の祈りが・・・・」

劉備ガンダム

「三璃紗に生きるすべての者達の想いが天すらも突き動かしたんだ!!!」

曹操ガンダム

「認めよう…その力！認めよう、その信念！だがツ！余とて退くわけにはゆかぬツ！」

劉備ガンダム

「負けるわけにはいかない・・!!この三璃紗に生きる・・・・」

孫権ガンダム

「全ての命のために!!」

三体はそれぞれぶつかつた

マジンカイザーSKLはアイアンカイザーを追い詰めた

キバ（SKL）

「重力炉ごと・・て・・・・てめえら、死ぬ気か!?」

海動

「今さら何言つてやがる、死にぞこないが!! てめえが死ぬか、俺達がくたばるか! こういう賭けもたまには面白れえ!!」

真上

「仲良く釜茹でと洒落込もう!!」

キバ（SKL）

「へつ、決着をあの世まで持ち越そうつてつもりか!!」

海動

「あの世もこの世もねえ、てめえはもう地獄にいるんだ!!」

キバ（SKL）

「てめえら……本当のバカだあつ!!」

真上

「インフェルノブラスター!!!」

ショッカー本部内。

本部へ帰還した首領のもとへ突如、1号ライダーが現れる。

首領

「仮面ライダー!?」

振り向くと、反対側には2号ライダーの姿が。

2号

「首領、もう逃げ道はない！」

ライダー2人に背を向ける首領。

1号

「待てい！ 世界制服の野望を捨てろ！」

「正体を見てやる！」

2号が首領の頭巾を引き剥がす。中から覗いた素顔は——顔中から無数の蛇が生えたような奇怪な姿。

首領

「ライダー、とうとう俺の姿を見たな!?」

1号

「それが首領の正体だったのか……!?」

首領

「貴様たちのためにショッカーは全滅だ！ 地獄の道連れに貴様たちも連れてゆく……！」

首領が凄まじい閃光とともに衝撃波を放ち、2人を吹き飛ばす。

1号・2号

「うわあつ！」

苦しみつつも、尚も首領へ挑むライダーたち。しかし今度は首領が毒ガスを放つてライダーたちを苦しめる。

1号・2号

「うわあつ！」

苦痛に耐え抜き、なおもライダーたちは首領に飛び掛る。奇怪な顔を掴み、それを引きちぎる。なんとその顔は仮面。その下から現れたのは、巨大な一つ目しかない真っ白な顔。

異様な姿に、思わずライダーたちはたじろぐ。

首領

「ショツッカーの最期だ……！ わしと一緒に死ね!!」

更にショツッカーの基地から爆発が発生するとショツッカー首領も倒れて爆発し、1号と2号は何とかショツッカー首領から離れる事が出来た。

1号

「ショツッカー首領の劇的な最期だ……！」

仮面ライダー1号と2号の活躍でショツッカーの野望は打ち砕かれた。

アカレンジヤー

「アーティスト」

アカレンジャーの放つたニューヤリビュートが、黒十字總統の胸に突き刺さる。

「うわああつ!?

黒十字總統の頭部が胴を離れ、宙を舞う。

總統

十字型の頭部が地面に落ち、黒十字城の姿に変わる。

アカレンシヤー

危ない、
退却しろ！」

黒十字城が見る見る巨大化し、空に浮かび上がる。

モモレンジヤー

「黒十字總統の正体は、黒十字城だつたのね！」

マジック・アーティスト

「マシンエンペラーとか言つたな」

アカレンジャー

「黒十字總統は超天才だ。自分の頭脳を機械に植え付けてしまったんだ」

アオレンジャー

「機械魔神か……」

アカレンジャー

「そうだ」

キレンジャー

「恐ろしかけもんたいねえ」

ミドレンジャー

「せつかく追い詰めたのに……逃げられてしまった」

アカレンジャー

「逃がしはせん！ アオ、バリドリーンの燃料は？」

アオレンジャー 「あと10分なら飛べるぜ」

空を行く黒十字城を、ゴレンジャーのバリドリーンが追う。バリドリーンが城内に入。

さらにゴレンジャーたちがスターマシーンを駆り、城内に乗り込む。ゴレンジャーは、バリドリーン・スターマシーンに各々の爆弾をセットして黒十字城を、内部から破壊しようと突入したのだ

城内のゾルダーたちを跳ね飛ばしつつ、ゴレンジャーたちが突進。それぞれ、スター
マシーンから飛び降り、スターマシーンを火薬庫などに突っ込ませる。
あちこちで次々に爆発が起ころる。

アカレンジャー

「脱出だ！」

ゴレンジャーがバー・デイで宙を舞い、脱出。

總統

「うわああああ——つつ！」

黒十字城が大爆発。こうしてゴレンジャーの活躍によつて、黒十字總統、黒十字軍は
最期を遂げた。

ジャアクギング

「なぜだ？なぜ倒れん？私の力は宇宙そのものだぞ」

キュアブランク

「ここで倒れるわけにはいかないの！いろんなことがあつたんだもん！」

キュアホワイト

「でも、乗り越えてきたのよ！」

キュアブラック

「だから、あんたなんかに」

キュアホワイト

「今ここで、あなたなんかに」

キュアブラック、キュアホワイト

「負けるわけにはいかないの！」

ジャアクギング

「バカな」

キュアブラック

「な、何あれ」

ミップル

「大きくなつてるミポ」

キュアブラック

「ありえない！」

ジャアクギング

「身の程知らずどもめ。虹の園もろとも、叩き潰してくれる！」

攻撃を食い止めたのはクイーンだった

キュアブラック

「クイーン」

ジャアクキング

「おのれ、光のクイーン。今自分が何をしようとしているか分かつているのか？このままでお互い無事では済むまい。もし私とお前が共に倒れようものなら、世界は全くの無に帰してしまうのだぞ？」

クイーン

「私の願いは光と闇のバランスです。私とあなたとの違いは一つ、未来を信じようとするのか、未来を支配しようとするのかです。私は、生きとし生ける全ての命の可能性に賭けたい」

キュアブラック

「じゃ、じゃあルミナスは？」

クイーン

「悲しむ事はありません。ルミナスは皆の為に決意したのです。ルミナスは永遠にあなた達の心の中で行き続けるでしょう」

シャイニールミナス

「そうです。私はクイーンとして、皆の未来を守り続ける決心をしました」

キュアブラック・キュアホワイト「ルミナス」

ルミナス「お別れを言いに来ました。でも、後悔はしていません。私達は未来のずっとずつと先で繋がっているはずですからだから……だから決して後悔はしない……」

シャイニールミナス泣き出す

キュアブラック

「ひかり……」

キュアホワイト

「私達繋がってる。永遠に」

シャイニールミナス

「はい」

ポルン

「ポルンが皆を未来へ導く。ポポ」

ルルン

「ルルンは皆の未来を紡ぐルル」

クイーン

「さあ、全てを生み出す力を解放するのです！」

ジャアクキング

「おのれ」

シャイニールミナス

「これが最後の力です」

ポルン

「力を合わせる。ボボ」

キュアブラック

「漲る勇気！」

キュアホワイト

「溢れる希望！」

シャイニールミナス

「光り輝く絆と共に！」

キュアブラック・キュアホワイト

「エキストリーム！」

シャイニールミナス

「ルミナリオン！」

キュアブラック、キュアホワイト

「マックス！」

その攻撃でジャアクキングは消滅。こうしてキュアブラック、キュアホワイト、シャイニールミナスの活躍によって、ドツクゾーンは最期を遂げた。

マコト

「うおおおおおおおおおおおおお!!」

ファルセイバーと呼ばれるロボットは全ての敵を倒した

マコト

「は、ははっ・・・。うまく・・・行きましたね・・・。これで、貴方との約束は果たしましたよ、ファルセイバー・・・。」

ファルセイバー

「ああ・・・・・」

マコト

「で、ですが・・・・。今回ばかりは・・・少し張り切りすぎたようです・・・もう一つの約束は果たせそうにない・・・・。大失態ですよ・・・・・」

ファルセイバー

「マコト・・・・・」

マコト

「あの子は・・・無事みたいですね・・・・・?」

「ファルセイバー

『生命』に影響はない。だが・・・・・

マコト

「い、生きているのなら、多少のことは・・・何とかなります・・・あとは任せましょ
う・・・また後始末を押し付けて、つて怒るかもしませんけどね・・・・・」

「ファルセイバー

「ぐう・・・・!?

マコト

「ファルセイバー、君も今の身体を維持するのはもう限界みたい…ですね・・・・・

「ファルセイバー

「許してくれ、マコト・・・・・。私は君を・・・・」

マコト

「気にする必要は・・・ありませんよ・・・・。僕がここにいた証は・・・わずかに残つて
いる・・・そして、その証はきっと・・・・・」

そして・・・始まりと終わりが交わる時・・・世界が交わる!!
貴方はどれを選ぶ?※少しづつ作成していきたいと思います

- ①正義の白
 - ②希望の青
 - ③霸道の赤
 - ④尊きの緑
 - ⑤復讐の黒
- ※無の章は少し進めてから作ります

白の章+青の章

E p i s o d e 0 1 (白の章)

『地球は生命の宝箱』

それは幼いころの夢であつた

光輔の父

「光輔・・・勇気を持つんだ」

幼いころの光輔

「勇気・・・僕にあるのかな?」

光輔の父

「あるさ。その勇氣があれば母さんや愛菜や希望を守れるんだ」

光輔

「わかつたよ、お父さん!!僕、勇氣を持つよ」

光輔の父

「それでこそ俺の息子だ!!」

そして、現在、電車の中

光輔

「父さん・・・俺、勇気を・・・」

???

「・・・きて・・・ちゃん・・・」

光輔

「俺は・・・」

希望

「お兄ちゃん!!起きろー!!」

光輔

「うわああああ!!」

電車の中で光輔が慌てて起きた。目の前には二人の少女がいた

光輔

「希望・・・俺の耳元で大声で言うなよ」

希望

「だつて、お兄ちゃん、こうでもしないと起きないもん」

愛菜

「だめですよ、希望ちゃん。電車の中では大声を出したら」

光輔

「愛菜・・・そこは俺の耳元で大声を出さないように言つてくれないと」

愛菜

「兄さんはこうでもしないと起きないから仕方ありませんので」

光輔

「すみません・・・」

希望

「愛菜ちゃんのいう通りだよ。今日はおばさんのお見舞いに来るためにすこやか市に行くんだから」

光輔

「わかってるって。あとでこそやか饅頭を買ってこないとな。母さんも楽しみにしてるからな」

希望

「でもどうせならママもいけたらよかつたのに」

愛菜

「仕方ありませんよ、大事なお仕事がありますから」

光輔

「とりあえず行くとしますか」

そして、彼らはまだ何も知らない。これから起きることを

地球上には、およそ800万種の生物が存在すると考えられている。しかし、現在発見されているのはおよそ170万種。この星はまだ、我々の知らない生き物であふれている。

一人の青年、風切大和がすこやか市の山で散策していた

大和

「自然あふれるいい場所だな・・・あつ、卵が鳥の巣から落ちたのか」

その後、鳥の巣から落ちた卵を元に戻した時に・・大和のリュックから何かが落ちた

大和

「あああ、俺の大事なお守り!!!」

大和はお守りを取りに向かった。なんとかお守りを手に入れるとお守りが光り輝いていた

大和

「なんだ・・・あれ・・・」

すると・・・大和の前に巨大な四角いものが大和の前に現れた。すると一つのくぼみがあることに気が付いた大和はお守りを入れた。すると・・・

大和

「どうなつて いるんだ!! うわああああああああああああ!!!!」

大和は謎の四角いものに好いて込まれてしまつた

すると二人は不思議な場所にたどり着いた。すると大和たちは目覚めると・・そこに
は・・

大和

「うわああああああああああああ!!!!」

レオ

「うわあああああああああ (ガオオオオ)!!!!」

セラ

「レオ、アンタは大声出すなつて言つているでしょ!! 私の耳、つぶす気?」

レオ

「セラの耳が良すぎるんだよ!!」

セラ

「うるさい!!」

アム

「もしかして人間かな? ねえ、タスク君」

タスク

「うわわ!! やめろよ、アム!! 押すなよ!!」

「一本足で服を着ており、言葉をしゃべっているサメとライオンとゾウとトラがいた
大和

「しゃべってる・・・サメが・・・ライオンが・・・ゾウが・・・トラが・・・立つて
服着て喋ってる・・・なんだここは・・・」

地球はまだ我々の知らない生き物であふれている・・・。大和がやつて場所は動物人
間がいるジューランドであった

そのころ、ここヒーリングガーデンでは謎の戦力によつて侵されていた
テアティース

「ラテ。お母さんの代わりに、王女の務めをお願いね・・・」

ラテ

「くぅーん・・・」

ラビリン

「テアティース様。ラテ様は、ラビリン達が絶対絶対お守りするラビ!
ニヤトラン

「地球のお手当は俺達に任せろって!」

ペギタン

「でも、ちょっと不安だペエ・・・。僕達、まだ見習いの半人前だペエ・・・」
テアティース

「大丈夫。人間のパートナーを探すのです。」

ラビリン

「人間のパートナー・・・。それって、あの伝説の・・・」
するとテアティースはラビリン、ペギタン、ニヤトランにあるものを渡した
テアティース

「ラビリン。ペギタン。ニヤトラン。心の肉球にキュンときた人間に、それを渡しなさい」

ラビリン、ペギタン、ニヤトラン

「「はい!!」

そして、四匹はどこかへと向かつた
ラテ

「わんわん!!」

テアティース

「頼みましたよ。あの子たちを見守つていてね」

そして、ラビリンたちはすこやか市にたどり着いた

ラビリン

「これからここで、運命の出会いが待つてたるラビ……」

そのころ、すこやか市では一人の少女、花寺のどかが町を見ていた
のどか

「これからここで、どんな出会いが待つてたるのかな……。今日が私の第一歩！」
そして、これから起きる戦いを誰も予想しなかつた

Episode 01（白の章）『地球は生命の宝箱』

そのころ、宇宙では何かが地球に向かおうとしていた。それは宇宙船サジタリーアーク
であつた。その中には今まで99個の星を滅ぼしたデスガリアンが乗つっていた
ナリア

「ジニス様」

ジニス

「どうした、ナリア」

ナリア

「見えました、地球です」

デスガリアンのボスであるジニスは地球の様子を見ていた
ジニス

「いいね。噂通り生命が豊かそうな星だ」と
すると近くでボードゲームをしていた三人のリーダーのアザルド・クバル・ジャグド
はそれを聞き・・・

ジャグド

「ヒヤツハーハー!!待つてました!!」

クバル

「ジャグド、なんてことを」

アザルド

「まあいいじやねえかクバル。こんな退屈なゲームよりも血沸き肉が躍るゲームが始ま
るんだ」

クバル

「アザルド、そういうセリフは勝つてからいうものですよ」

ジニス

「ジャグド、つまらぬ星ならさつさと破壊しておいで。なにせ次の遊ば場が記念すべき
百個目の星になるから」

そのころ、すこやか市では光輔と愛菜と希望が観光に來ていた

光輔

「おばさん、元気そうで何よりだな」

愛菜

「そうですね。まだ時間がありますから少し観光してから帰りましょう」

希望

「近くにカフェがあるから行こうよ」

光輔

「まつたく・・・・」

そして、三人がやつてきたのは平光アニマルクリニックであった。そこにはのどかがいた

のどか

「あれ？ 貴方達は」

光輔

「ああ、俺達はここへおばさんのお見舞いがてらここに来たんだ」
のどか

「そうなんですか。私は花寺のどかといいます」

光輔

「俺は勇剣光輔」

愛菜

「勇剣愛菜です。こっちにいるのが双子の妹の・・・」

希望

「勇剣希望だよ。よろしくね、のどかちゃん!!」

のどか

「うん・・・よろしく・・・」

するとのどかは一人の少女、平光ひなたにぶつかつた
のどか

「ふわあ!!」

光輔

「のどかちゃん!!」

愛菜

「大丈夫ですか?」

ひなた

「うわー!ごめんね、ごめんね!大丈夫!?めっちゃ痛いよね!?怪我とか平氣!??」

のどか

「うん、全然・・・。私もよそ見してたので、お気になさらず・・・」

ひなた

「えつー!! メツチャ優しい、いい人!! 今度遊びに来て! ウチのジュース、ごちそうするし! ね! あたし、用事があるからそれじゃ」

ひなたはそのまま走っていた

のどか

「光の速さで行っちゃった……」

光輔

「カフェどうする?」

希望

「見たけど準備中だから海へ行こうよ」

その後、四人は海へ向かつた

光輔

「自然あふれるいい場所だな」

のどか

「私も生きてるって感じがする」

希望

「のどかちゃん、面白いことを言うね」

愛菜

「そうですね」

するとランニングしていた少女、沢泉ちゆが四人の横を通り過ぎた。すると彼女の髪についていたシユシユが落ちた

光輔

「おい、これ落としたぞ」

のどか

「待つてください!!」

ちゆ

「あら、ごめんなさい。貴方も大丈夫?」

のどか

「なんとか・・・・」

希望

「ランニングに集中するのはいいけど身の回りにも気をつけたほうがいいよ」

ちゆ

「そうね。それじゃ」

ちゆはランニングを再開した。その後、のどかと分かれた

一方で花畠では謎の存在が花畠にいた

ダルイゼン

「やれやれ・・・。生きてるつて感じだね・・・。ま、これから俺達ビヨーゲンズが星ごと蝕んじやうんだけどね・・・。進化しろ、ナノビヨーゲン・・・」

ダルイゼンはナノビヨーゲンを花畠に投げた。すると巨大な怪物が現れた。同時にジヤグド率いるデスガリアン軍団が現れ、暴れ始めた

そのころ、ジユーランドでは大和が興味津々に見ていた。

アム

「ここはジユーランド。あたし達ジユーマンが暮らしている世界」

大和

「ジユーマン? すごい!! 地球にこんな生き物がいたなんていつたいどんな進化したんだろ?」

レオ

「じろじろ見てんじゃねえよ」

アム

「しようがないよね。お互い珍しいもん。人間の世界とはリンクキューでしかつながつてないから」

大和

「リンクキューブ?」

セラ

「さつきアンタが出てきた大きな四角い奴」

四人は大和が最初に来た草原に戻った

レオ

「俺たちはリンクキューブの番人というわけだ」

大和

「じゃあ、人間の世界に来たことは・・・」

レオ

「ねえーな。そのおかげでほかの世界への行き来もできなくなっている」

セラ

「リンクキューブを使うための鍵が盗まれちゃったからね」

大和

「鍵?」

アム

「王者の資格。これくらいの六つのキューブでジューマンを守るための不思議な力を秘めているといわれているの。そのうちの一つが盗まれちゃつてずっとほかの世界へ行けなかつたんだ」

大和

「えっ？ 盗まれた」

大和は昔のことを思い出した。このお守りをくれた鳥男のことを・・・・

鳥男

「もう大丈夫だ。きつとこいつがお前を守ってくれる・・・・」

・・・・

するとそこへ象に乗つたタスクがやつてきた

大和

「ゾウ・オン・ゾウ!!」

タスク

「おい人間!! お前がこれを盗んだのか?」

大和

「えつ?」

レオ

「てめえ!!泥棒だつたのか!!」

大和

「うわあああ!!俺は盗んでないよ!!もらつたんだつて!!」

レオ

「ああ? 適当な嘘をつくんじやねえ!!」

すると…

アム

「見て!!なにあれ!!」

リンクキューブの動きがおかしくなつていた。六人は慌ててリンクキューブのところに向かつた

セラ

「こんなリンクキューブ、初めて見た」

アム

「ねえ、まさか壊れたりしないよね?」

大和

「そんな、あが壊れたら俺、帰れなくなつちやうよ。ねえ、大丈夫だよね!!」

レオ

「知るか!! 泥棒どもは黙つてろ!!」

大和

「泥棒じゃないし：黙つてられるか!!」

はるか

「大和さん!!」

大和はレオの制止を振り切り、リンクキューブに王者の資格を差し込んだ。セラ達も追いかけるとリンクキューブに吸い込まれた

一方、そのころ、一人の少年、勇望光矢すこやか市に來ていた

光矢

「ここが・・・正義さんが連絡あつた新たな光を感じた場所か・・・それにしてもここは体によさそうな街で癒しの場所だな・・・ん?」

するとどこかで爆発音が響いた

光矢

「あれはいつたいなんだ!? 正義さんの言つていた大いなる悪の目覚めか!! とにかく行か

ないと・・・」

すると・・・のどかが走つていた

光矢

「ん？おい!!何やつてるんだ!!この先は危ないから避難するんだ!!」

のどか

「あそこにワンちゃんがいるの!!飼い主とはぐれちゃつたみたいだから助けないと!!」
光矢

「そうか・・・だがここから先は危ない!!すぐに避難するんだ!!」
のどか

「でも・・・」

???

「それなら俺も行こう」

光矢

「貴方は・・・南光太郎さん」

二人の前に一人の青年・南光太郎が現れた

光矢

「どうしてあなたがここに!!」

光太郎

「本郷さんと甲児から連絡があつたんだ。なにか嫌な気配を感じると」

光矢

「そうですか。俺も一緒に行きます」

「だつたら私も」

光太郎

「いやだめだ」

光矢

「光太郎さんの言う通りだ。君が行つても何もできないぞ!! 犬は俺達が助けるから早く避難するんだ!!」

光矢はそのまま走り出した

のどか

「・・・・・大丈夫・・・。私はもう・・・走れる!」

そのころ、光輔達も騒ぎを見ていた

愛菜

「なんでしようか・・・」

光輔

「わからない。けど嫌な気配はする」

希望

「お兄ちゃん、あれを見て!!」

光輔

「あれは・・・のどかちゃん!!」

それは山に向かっているのどかであつた

光輔

「俺が連れ戻すから二人はここで待つんだ!!」

希望

「うん!!のどかちゃんを連れ戻してね」

その時、光輔のペンドントが光つっていた

光輔

「今のは・・・ペンドントから・・・おつと、それどころじやなかつた!!」

「あれはいつたい・・・」

ちゆ

ひなた

「なんだかすごくヤバそうだよ」

嫌な気配を感じたちゆとひなたも山のほうに向かつた

そのころ、メガビヨーゲンとデスガリアンは暴れ続けていた
そして、リンクキューブから大和達が出てきた

レオ

「なんだこりや。人間の世界はこんなやばいところなのか？」

大和

「違う・・こんな世界じゃない」

するとジユーマン達の尻尾が何かを感じ始めた

アム

「尻尾が痛い。こんな禍々しい気配は初めて」

すると・・

ジャグド

「いいぞ！どんどん出てこい!!!!獲物ども!!!!」

ダルイゼン

「まあいい、こいつらのおかげで地球をむしばめることが早まるからな」と
すると・・大和がジャグドの前に現れた

大和

「なんなんだ？お前らは」

ジヤグド

「俺達か？俺達はデスガリアン!! 今日からこの星は俺達の遊び場だ」

ダルイゼン

「言つておくが俺達はこいつらとは別の存在なんだ。一緒にしてもらっちゃ困るな。だが地球がむしばめば構わんがな」

大和

「遊び!!」

ジヤグド

「そう・・プラッドゲームだ!! ヒヤツハー!!!!」

???

「そ う は させん!!」

ジヤグド

「何!!」

ジヤグドとダルイゼンが振り向いた先には二人の戦士がいた

ダルイゼン

「誰だ、お前ら？」

ブレイバー

「勇気と希望の戦士!! ブレイバー!!」

R X

「俺は太陽の子!! 仮面ライダーBLACK RX!!」

ダルイゼン

「何者かは知らないが俺達の邪魔はさせないからな。やれ!!」

ブレイバーとR Xは戦闘を開始した

ジャグド

「これ以上、お前達の好きにはさせない!! 行くぞ!!」

「何者かは知らねえが俺達の邪魔をするなら容赦しねえぜ!!」

ダルイゼン

「やれ、メガビヨーゲン」

ジャグドは攻撃を仕掛けた。その攻撃はやがてリンクキューブまで届き、破壊されてしまった

タスク

「僕たちのリンクキューブが!!」

アム

「何してくれてるのよ、あいつ」

セラ

「許せない。何がゲームよ!!」

レオ

「ううう・・・やめろ!!!」

四人は王者の資格を手に取るとジャグドとメーバのところに向かつた
ジャグド

「生きていやがつたのか?」

R X

「あれはいったい・・・」

ブレイバー

「サメとライオンとゾウとトラが立つている」

R X

「ショッカーの残党・・・ではなさそだ」

レオ

「このままじやすまさねえ!!ジューマンのプライドにかけてな!!」

すると四人の王者の資格の形がジユウオウチエンジャーへと変わった

アム

「不思議!! 力を感じる!!」

タスク

「これが王者の資格に秘められた力』

レオ

「ジユーマンを守る力だ!!」

そして・・・四人はジユウオウチエンジヤー

『シャーク!!』

『ライオン!!』

『エレファント!!』

『タイガー!!』

セラ・レオ・タスク・アム

「「「本能覚醒!!」」」

『アーアーアアアーツ!!』

すると四人の姿が変わった

ジユウオウシャーク

「荒海の王者! ジユウオウシャーク!!」

ジユウオウライオン

「サバンナの王者！・ジユウオウライオン!!」

ジユウオウエレファント

「森林の王者！・ジユウオウエレファント!!」

ジユウオウタイガー

「雪原の王者！・ジユウオウタイガー!!」

ジユウオウジャー

「〔〔動物戦隊ジユウオウジャー!!〕〕」

ブレイバー

「あれはいつたい・・・・・」

R X

「ゴレンジャーと同じスーパー戦隊なのか・・・・」

四人は変身を完了した

ジャグド

「ふふふふ・・メーバ、遊んでやれ」

ダルイゼン

「お前らもやれ、メガビヨーゲン!!」

ジユウオウライオン

「うおおおお・・かかってこいよ!!!」

そして・・四人は戦い始めた。

【ブレイバー 初戦闘】

ブレイバー

「あいつらが何者かは知らないけど俺がいる限り。地球をめちゃくちやにはさせない行
くぞ!!」

【RX 初戦闘】

RX

「ゴルゴムやクライシスとの戦いが終わつた後でこんな奴らが現われるとは・・・だが
俺がいるかぎりこの星の好きにはさせんいくぞ!!」

【ジユウオウシャーク・ジユウオウライオン・ジユウオウエレフアント・ジユウオウタイ
ガー 初戦闘】

ジユウオウライオン

「なんだこれ?」

ジユウオウタイガー

「ジユーマンパワーが引き出している感じ」

ジユウオウシャーク

「王者の資格の力・・・すこす気でしょ」

ジユウオウエレファント

「・・・この力はいつたい・・・」

大和

「まるで動物たちが地球を守つてゐみたいだ」

すると大和はそばに落ちていた王者の資格を手に取ると戦いに向かつた。すると残りのキューブを何者かが持ち去つた

そのころ、ラビリンは具合が悪くなつたラテを守るために戦おうとしたが・・・メガビヨーゲンの攻撃に吹き飛ばされてしまつた。そして、ラビリンは足を挟んでしまつた

ラビリン

「誰か・・・、お医者さんはいないラビ!?」

のどか

「いた!!」

ラビリンの前にはのどかがいた

のどか

「大丈夫?」

ラビリン

「お医者さんじやないラビ……」

のどか

「すぐに病院に連れて行かないと」

ラビリン

「無理ラビ。ラテ様を治すには、あつちで暴れているメガビヨーゲンを浄化して、地球をお手当てするしかないラビ」

のどか

「どうしたら……あつ……」

のどかは苦しんでいるラテを優しく抱いていた。かつて病気に苦しんでいた自分を両親が励ましてくれたかのように……

のどか

「ワンちゃん、大丈夫だよ……。私が、みんながついてるからね……」

そして、のどかはラビリンのほうに振り向いた

のどか

「で、あなた達は、そのお手当の方法、知ってるんだよね？　私に何かできる事ない？」

私、何でもする!!」

ラビリン

「あなたには無理ラビ！早くここから逃げるラビ！」

のどか

「嫌だ……」

ラビリン

「危ないって、今まで分かつたラビ！」

のどか

「だからって、放つとけないよ！この子……、こんなに苦しんでるのに……私、この子を助けたい……」

するとラビリンの心の肉球が反応し始めた

ラビリン

「私はラビリン。あなたの名前は？」

のどか

「のどか……。花寺のどか……」

ラビリン

「のどか……。本当に、アイツに立ち向かう勇気はあるラビ？」

のどか

「この子を助けられるなら、いくらでも！」

ラビリン

「のどか。ラビリンと一緒にプリキュアになるラビー！」
のどか

「ありがとう、ラビリン！……えつ、プリキュア!?」

するとラビリンの肉球が光りだした

そのころ、ペギタンもどこかに吹き飛ばされた

ペギタン

「ラビリン、ニヤトラン、ラテ様、どこにいるペエ。ビヨーゲンズだけじゃなくてあんな
のまでいるペエ・・どうしたら・・・」

ちゅ

「ペンギンさん!!」

ペギタン

「ペエ!!」

ペギタンの前に現れたのはちゅであつた

ちゅ

「どうしてこんなところにそれに喋るなんて・・・それにどうしたらいいの」

ペギタン

「実は・・・あいつらを浄化できればなんとかできるペエ」

ちゆ

「じゃあ私にも手伝わせてお願いい!!」

ペギタン

「無理ペエ・・・自信ないペエ・・・僕の力じや君を危ない目に合わせるだけペエ」
自信のないペギタンにちゆは説得を続けた

ちゆ

「でも、あなたも、みんなを助けたいんでしょ? 怪物は、私も怖いわ・・・。でも、それ
以上に、大切なものを守りたいの・・・。貴方は・・・」

ペギタン

「守りたいペエ」

ちゆ

「私はあなたより大きいから、少しは力になれると思う。もし勇気が足りないなら、私の
を分けてあげる。大丈夫。私がいるわ。私はちゆ。あなたは?」

ペギタン

「僕、ペギタン・・・」

するとペギタンの肉球が光りだした

そのころ、ニヤトランはどこかで飛ばされていた

ニヤトラン

「おーい!!俺はどこまで飛ばされるんだよ!!」

ひなた

「危ない!!」

ニヤトランを助けたのはひなたであつた

ひなた

「よかつた!!ネコちゃん、無事で何よりだよ」

ニヤトラン

「やめれ!!苦しい!!・・・・あつ!!」

ひなた

「ええええっー!!喋った!!」

ニヤトランはうつかりしゃべつてしまつたのでひなたは驚いた

ニヤトラン

「でもお前、最高だよ!!気に入つたぜ!!俺はニヤトラン。お前は?」

ひなた

「ひなた・・・・」

ニヤトラン

「心の肉球にキュンときた！」

するとニヤトランの肉球が光りだした

ニヤトラン

「なあ、ひなた。俺と一緒にプリキュアになんないか？」

ひなた

「え？ プリキュア？」

ニヤトラン

「あの怪物、ビヨーゲンズから地球を守るんだ！」

ひなた

「地球を・・・、守る・・・？」

ニヤトラン

「そう。お前の中の好きなものや大切なものを、お前の手で守るんだよ！ ひなた。お前ならできる。っていうか、俺はお前と組みたい！」

ひなた

「うん、分かった！ やるよ、ニヤトラン！」

そして、三つのアイテムが出てきた

ニヤトラン

「それは、伝説の・・・」

ペギタン

「ヒーリングステッキペエ！」

ラビリン

「のどか！ この花のエレメントボトルをステッキにセットするラビー！
のどか

「分かつた！」

ペギタン

「ちゅ、この水のボトルをヒーリングステッキにセットするペエ！」

ちゅ

「分かつたわ！」

ニヤトラン

「ひなた！ この光のボトルをヒーリングステッキにセットするニヤー！」

ひなた

「オツケー！」

そして・・・

ラビリン・ペギタン・ニヤトラン

「「スターート!!」」

のどか・ちゅ・ひなた

「「「プリキュア・オペレーション!!」」

ラビリン・ペギタン・ニヤトラン

「「エレメントレベル上昇(ラビ/ペギ/ニヤ)!!」」

のどか・ちゅ・ひなた・ラビリン・ペギタン・ニヤトラン

「「「「キュアタツチ!!」」」

キュアグレース・ラビリン

「重なる二つの花!!」

キュアグレース

「キュアグレース!!」

ラビリン

「ラビ!!」

キュアフォンテヌ・ペギタン

「交わる二つの流れ!!」

キュアフォンテーヌ

「キュアフォンテーヌ!!」

ペギタン

「ペエ!!」

キュアスパークル・ニヤトラン

「溶け合う二つの光!!」

キュアスパークル

「キュアスパークル!!」

ニヤトラン

「ニヤー!!」

変身が完了した三人は一か所に集まつた

ダルイゼン

「プリキュア・・・あの古の・・・いや人間がそんな長生きするわけがない・・・あいつ
は別人・・・」

キュアグレース

「ふわあ!!なにこれ!!どうやつて着替えたの!?」

ラビリン

「着替えつて・・・他に驚くことがあるラビ!!」

キュアフォンテース

「これはいつたい・・・」

キュアスパークル

「この格好、メッチャかわいい!!」

キュアグレース

「どううか貴方達はさつきの・・・」

キュアフォンテース

「浜辺にあつた女の子・・・」

キュアスパークル

「二人もとつてもかわいい衣装を着ていていいね!!」

そんな様子をブレイバーとRXも見ていた

ブレイバー

「あの子たちはプリキュアか・・・」

RX

「ブレイバー、今は戦闘に集中したほうがいいぞ」

そのころ、ジュウオウジャーはジャグドと戦つていたが空中からのメーバの攻撃もあ

り、苦戦していた

ジヤグド

「ヒヤツハ一、さて・・・」

すると・・・

た 大和はジヤグドに立ち向かつた。しかし、逆にジヤグドに痛めつけられるだけであつ

ジヤグド

「てめえゴ」とき痛くも痒くもないぜ!!」

大和

「うわあああ!!」

ジユウオウライオン

一馬鹿か、お前!!!なんでわざわざ

大和

「戦いたいんだ・・・この俺も・・・守りたいんだ・・・この森を・・・地球に生きる命を・・・

頼む・・・俺にも力を貸してくれ!!

ジユウオウエレファント

「無理だ!!それはジユーマンにしか使えない!!」

大和

「何が違うんだ!!!」

ジヤグド

「ゲームオーバーだ!!死ね!!!」

ジヤグドは大和たちを攻撃した

大和

「人間だつて動物だ!!!!」

するとなんと大和の持つていた王者の資格がジユウオウチエンジャーに変わった。そして、大和はそれで変身しようとしたとき攻撃が当たりそうになるが・・・突然、光が大和を包んだ

『アーアーアアアアーツ!!』

すると・・・同時に大和の姿が赤い服に包まれていた。すると・・・一羽の鷲が大和のもとにやってきた

鳥男

「きつとこいつがお前を守ってくれる・・・」

大和

「本能覚醒!!!」

鷺は大和の中に入るとその姿を鷺のような戦士に変わった

ジユウオウイーグル

「大空の王者! ジユウオウイーグル!!」

変身完了したジユウオウイーグルは・・・

ジユウオウイーグル

「野生解放!!!」

巨大な翼を付けたジユウオウイーグルはメーバ達を叩き落した

ジユウオウイーグル

「俺、すぐ!!」

ジャグド

「おもしろれえじやねえか!!!」

そして、ジャグドとの戦いが始まつた

【ジユウオウイーグル 初戦闘】

ジユウオウイーグル

「まさか・・・お守りの石にこんな力があるなんてなら俺もこの力で地球を守つて見せる!!」

【キュアグレース 初戦闘】

キュアグレース

「私、どうなつているの?プリキュアつていつたい・・・とにかくこの地球を守るため
に私は戦う!!」

【キュアフォンテヌ 初戦闘】

キュアフォンテヌ

「まさか変身してこんな力が出せるなんてとにかく今はここを守らないと!!」

【キュアスパークル 初戦闘】

キュアスパークル

「さつきはかわいい衣装に驚いたけどあたしつつすぐいよ!!」

【ジュウオウイーグル VS ジャグド】

ジャグド

「へっ、下等生物ごときが俺に勝てる事でも思つてはいるのか!!」

ジュウオウイーグル

「お前だけは絶対に許さない!!だから俺達をなめるなよ!!」

【キュアグレース・キュアフォンテーヌ・キュアスパークVSジャグド】
キュアグレース

「あの怪物とは違う別の存在・・・でも貴方が地球をめちゃくちゃにしようとしていることに変わりない!!」

キュアフォンテーヌ

「そんな貴方なんかに私達は負けないわ!!」

キュアスパークル

「アンタ達の好きにはさせないから!!」

ジャグド

「小娘ごときがこの俺を倒せるものなら倒してみろ!!」

ジユウオウイーグルは空中でよけながらジャグドを攻撃した。
ジユウオウイーグル

「イーグライザー!!!」

さらに専用武器・イーグライザーで攻撃した。そして・・・

ジユウオウイーグル

「とどめだ!!ライザースピニングスラッシュ!!!」

鞭の巻き付けた状態でジャグドを切りつけた

ジヤグド

「馬鹿な!!!この俺が下等生物ごときに!!!!」

ジヤグドは爆発四散した。ほかの四人はジユウオウイーグルのもとに集まつた。

【ジユウオウジャーヴスメガビヨーゲン】

ジユウオウイーグル

「あいつらが何者かは知らないがとにかく戦うまでだ!!行くぞ!!」

ジユウオウシャーク

「どうしてあいつは変身したのかしら」

ジユウオウライオン

「ジユーマンでもないのによ」

ジユウオウタイガー

「なんかすごいね」

ジユウオウエレファント

「王者の資格・・・これはいつたい・・・」

【キュアグレース・キュアフォンテヌ・キュアスパークヴスマガビヨーゲン】

キュアグレース

「これ以上、地球を蝕むことは絶対に許さない!!」

キュアフォンテース

「ペギタン達に頼まれたことだしね!!」

キュアスパークル

「よつし!!一気にやつちやうよ!!」

キュアグレース

「ふわあ、すごい!!」

ラビリン

「喜んでいる場合じゃないラビ!!あいつの体をスキヤンするラビ!肉球に1回タツチするラビ!!」

キュアグレース

「わかつた!!」

キュアグレース・ラビリン

「キュアスキヤン!!」

するとメガビヨーゲンの体に何かがいた

キュアグレース

「ラビリン、あれは!?」

ラビリン

「花のエレメント。ガビヨーゲンが地球から奪った命のパワーラビ！」

キュアグレース

「あれを取り戻さないといけないんだね」

ラビリン

「そういうことラビってやば!!」

メガビヨーゲンはキュアグレースに攻撃を仕掛けた。しかし、キュアグレースはその攻撃を受け止めた。

キュアグレース

「うわ凄い！私力持ち！」

ラビリン

「プリキュアだもん。当然ラビ!!グレース、メガビヨーゲンを押さえるラビ!!」

キュアグレース

「よし!!はあああああああ!!」

キュアグレースはメガビヨーゲンを投げ飛ばした

ラビリン

「今ラビ！メガビヨーゲンを浄化するラビ！肉球を3回タツチするラビ！」

キュアグレース

「わかつた!!」

ペギタン

「フォンテーヌ!!」

キュアフォンテーヌ

「わかつたわ!!」

ニヤトラン

「スパークル!!」

キュアスパークル

「オッケー!!」

そして・・・

キュアグレース

「エレメントチャージ!!」

キュアグレース・ラビリン

「ヒーリングゲージ上昇!!」

キュアグレース

「プリキュア・ヒーリング・フラワー!!」

キュアフォンテーヌ

「エレメントチャージ!!」

キュアフォンテーヌ・ペギタン

「ヒーリングゲージ上昇!!」

キュアフォンテーヌ

「プリキュア・ヒーリング・ストリーム!!」

キュアスパークル

「エレメントチャージ!!」

キュアスパークル・ニヤトラン

「ヒーリングゲージ上昇!!」

キュアスパークル

「プリキュア・ヒーリング・フラッシュ!!」

キュアグレース・キュアフォンテーヌとキュアスパークルの必殺技がメガビヨーゲンにさく裂した

メガビヨーゲン

「ヒーリン・・・グッバイ・・・・」

キュアグレース・ラビリン

「お大事」

見事にメガビヨーゲンを浄化することに成功したのであつた
キュアグレース

「やつた!! 悪いの追い払つた!! すごいすごい!! こんなに飛べる! 私の体じゃないみたい
!」

キュアフォンテヌ

「なんとかなつたわね・・・・」

キュアスパークル

「よつし!! お疲れ!!」

ダルイゼン

「ふーん。なかなかやるじyan・・・・とりあえず報告しておくか」

そんな様子をデスガリアンの幹部達は様子を見ていた
クバル

「チームリーダーのジャグドを倒す者がいるとは!」

するとジニスが立ち上がる。

ナリア

「ジニス様……」

ジニス

「これは興味深い。ナリア、コンティニューだ……」

ナリア

「はい！」

するとそこへナリアが現れ・・

ナリア

「ジニス様の細胞から注入されたエネルギーです。無駄遣いせぬよう励みなさい」
ナリアはジャグドの左肩の投入口にコインのようなものを入れた

ジャグド

「ヒヤツハー!!サンキュー!!ナリア!!」

ジャグドは巨大化して復活した

キュアグレース

「ふわあ!!大きくなつた!!」

ジュウオウタイガー

「なにあれ!!」

ジュウオウイーグル

「生き返るなんて反則でしょ!!しかもでかいし!!」

R X

「光矢、後は任せる!!」

ブレイバー

「その話だと知っていることですね。ならば!!」

そして・・・

ブレイバー

「これ以上、お前達の好きにはさせない!!行くぞ、ブレイオン!!」

ブレイオン

「おう!!」

そして、ブレイバーはコマンダーを取り出した

ブレイバー

「ブレイブスパークコマンダー!!!!」

ブレイバーの持つているブレイブスパークコマンダーから一台のスーパーカーが現
れた

ブレイオン

「チエンジ!!ブレイオン!!」

スーパーカーは変形してロボットになるとその額にブレイバーは入り込んだ
ブレイオン

「行くぞ!!」

さらにブレイバーはブレイブスパークコマンダーを手にすると・・・

ブレイバー

「ブレイブ・エヴァオリューション・スパーク!! シャインブレイオン!!」

ブレイオン

「シャインローダー!! シャインウイニング!!」

ブレイオンの周りにサポートメカのシャインローダーとシャインウイニングが現れた。シャインローダーは立ち上がると後部サイドが変形し、両足となつた。そこへビークル形態となつたブレイオンが背中のハツチに入るとその上にシャインウイニングが変形し、その上に被つた。同時に胸のハツチが開くと新たなライオンの頭部が現れ、シャインウイニングのアームパーツから拳が現れ、最後に頭部が現れると口元をマスクで閉じた瞬間、目が光りだした

シャインブレイオン

「聖勇合体!!! シャインブレイオン!!!」

合体を完了したシャインブレイオンはポーズを決めた

するとジユウオウキューブ!! する」とジユウオウエンジャーが輝き始めた。そして、ボタンを押した瞬間・・・

『ジユウオウキューブ!!』

新たな四角の物体が現れ、それぞれ、ワシ・サメ・ライオン・ゾウ・トラに変形した
ジユウオウライオン

「あれくらいいけるだろ!!」

ジユウオウイーグル

「行こう!!」

そして、ジユウオウジャ一はキューブアニマルに乗り込んだ

ジユウオウイーグル

「キューブイーグル!!」

《キューブイーグル》

ジユウオウシャーク

「キューブシャーク!!」

《キューブシャーク》

ジユウオウライオン

「キューブライオン!!」

《キューブライオン》

ジユウオウエレファン

「キューブエレファン!!」

『キューブエレファント』

ジユウオウタイガー

「キューブタイガー!!」

『キューブタイガー』

5人

「「「「ジユウオウキューブ、G O!」」」

五体のキューブアニマルはジャグドに向かつた。すると・・ジユウオウエンジヤーが輝き始めた。すると三つの輪が五体の前に現れた

ジユウオウイーグル

「なんだあれ?」

ジユウオウシャーク

「わかつた!!潜るんじゃない?」

ジユウオウライオン

「よつしやー!!突撃!!」

キューブアニマルたちは輪に潜ろうとした。キューブイーグル・キューブシャーク・

キューブライオンは潜れたがキューブエレファント・キューブタイガーだけは弾かれて

しまった

ジユウオウエレフアント

「えつ？」

ジユウオウタイガー

「先着三匹ということ？」

そして・・・

ジユウオウイーグル

「動物合体!!」

『イーグル・シャーク・ライオン』

『アーフィアアアーツ!!』

三体はキューブ形態になり、上からイーグル・シャーク・ライオンの順に重なった。そして、剣が突き刺し、一回転すると顔が現れ、その姿を現した

ジユウオウイーグル・ジユウオウシャーク・ジユウオウライオン

「「完成・ジユウオウキング!!」」

『ジユウオウキング!!』

さらに遅れて光輔がやつてきた

光輔

「あいつらはいつたい・・・俺にも戦えるのかな?」

???

『勇気を持つものよ』

光輔

「えっ・・・・・」

光輔の剣の形をしたペンダントが輝き始めた

光輔

「父さんのくれたペンダントが輝いてる・・・・・」

バラディオン

「私の名はバラディオン・・・かつて大いなる闇を封印するために神々によつて作られた光の機神だ。もうすぐこの世界は大いなる闇が訪れる。君は選ばれた戦士だ」

光輔

「俺が・・・・・」

バラディオン

「今、こうしている間にも世界は崩壊する・・・・・」

光輔

「世界が・・・・・わかつた!!この世界も・・・・俺の大事な友達や家族も守つて見せる!!」

バラディオン

「わかつた・・・光の剣使いよ・・・私の名を呼ぶのだ!!」

光輔

「ああ!!来い!!バラディオン!!」

光輔の前に巨大な白いロボットが現れた。光輔はその中に入つた
ブレイバー

「あのロボットは・・・」

ジュウオウイーグル

「味方でいいのかな?」

キュアグレース

「ふわあ・・・すごい!!」

光輔

「俺は守るために戦う!!」

そして、戦いは再開された

【光輔 初戦闘】

光輔

「勇気を大切にしろか・・・俺はこの力で大切なものを守る!!」

バラディオン

「その聖なる力があれば私はさらなる力を得るのだ!!」

光輔

「わかつた!! 行くぜ、パラディオン!!」

【ジユウオウイーグル 初戦闘】

ジユウオウイーグル

「まさか・・・こんな力があるなんて。今はこの星を守るために戦わないと」

【ブレイバー 初戦闘】

ブレイバー

「俺達がこの力を手に入れたのはこの地球に住む悪しきものと戦うためだつたのか・・・今はこの力でみんなを守らないと!! 行くぜ、シャインブレイオン!!」

シャインブレイオン

「おう!!」

三体はジャグドを追い詰めていき・・・

ジユウオウシャーク

「一気にはどめまで持ち込むよ!!」

ブレイバー

「俺達もやるぞ!!」

光輔

「もちろんだ!!」

そして

ブレイバー

「こつちも一気に決めるぜ!!」

シャインブレイオン

「おう!! シャインブレード!!

シャインブレイオンの右腕から必殺武器であるシャインブレードが現れ、それを手に取った

ブレイバー

「行くぞ!!!」

シャインブレイオン

「うおおおおおおおおおおおおお!!!! シャイニングブレイブファイニッシュ!!!!

シャインブレイオンの必殺技がジャグドにさく裂した。

ジユウオウキングはキングソードに力を注ぎこみ・・・

ジユウオウイーグル・ジユウオウシヤーク・ジユウオウライオン

「「「キングソード・ジュウオウ斬り!!!!」」」

ジユウオウキングのキングソードの一撃がジャグドに炸裂した
さらにパラディオンは胸に力をためた

パラディオン

「光輔!!君のゆ強くするんだ!!」

光輔

「わかつたぜ!!うおおおおおおおおおおおお!!」

パラディオンの胸が光りだし・・・

光輔・パラディオン

「パラディンセイントノヴァ!!!!」

強力な光の光線が放たれた

ジャグド

「ジ・・ジニス様ああああああああああああ!!!!」

ジャグドは爆発四散した、こうしてジユウオウジャー・プリキュア・パラディオンの
最初の戦いは終わつた

そんな様子を一人の老人は見ていた

「あいつ・・・まさか、こんなところであいつの勇士を見るとはな・・・」

???

一方、すこやか市から少し離れた町では一人の女性が準備していた

亜由美

「まさか・・・光輔に彼と同じものを持つていたとは・・・でもこれでうまくいくはずよ。私達は動かなければならない。大いなる闇に向かつて・・・だからこれより・・・クロスブレイバーズを再開させるわ!! 大いなる闇に立ち向かうためにね」

光輔・愛菜・希望の母、勇剣亜由美はそう誓った

NEXT